

- 流域治水の取組をさらに加速化させるため、中部地域に所在する関係省庁が集まり、『第3回 流域治水の推進に向けた中部関係省庁実務者会議』を開催しました。
- 今回は、令和3年度に実施した各機関の取組状況について共有し、引き続き、流域治水の取組を連携して推進していくこととともに、令和4年度に開催予定の実務者会議では、各機関の新規施策・予算等について共有していくことを確認しました。

【日時】 令和4年2月4日(金) 10:30～11:30

【場所】 Web会議

【議長・構成員】 (○;議長)

○ 田中 敬也	中部地方整備局 河川部長
山崎 正晴	東海財務局 管財部長
加藤 泰基	東海北陸厚生局 災害医療・医師偏在対策専門官 (欠席)
清野 哲生	関東農政局 農村振興部長
古賀 徹	東海農政局 農村振興部長
花村 健治	中部森林管理局 名古屋事務所 事務所長 (代理出席:副所長 佐々木 伸也)
一ノ瀬 宏昭	中部経済産業局 地域経済部長 (代理出席:地域振興係長 平山 潤)
小笠原 洋和	中部運輸局 総務部 安全防災・危機管理調整官
北田 繁樹	名古屋地方气象台 広域防災管理官
曾山 信雄	中部地方環境事務所 環境対策課長

Web会議の様子



意見交換の要旨

- 治水に焦点を絞って専門的なBCPを作成することは、企業にとってはメリット。水害が発生した場合、どのような被害が生じるのか知ってもらうことも大事。中部地整の取組と連携して実施していきたい。 <中部経済産業局>
- 田んぼダムやため池の活用は、R4予算から普及に活用できる補助制度も始まる予定。特に田んぼダムは地域の広がりをもって実施した方が効果があり、先進地区の事例を参考にさせていただきながら、実施していただく農家の方へのメリットも整理して積極的に普及していきたい。 <関東農政局>